

2026 年 5月25日	日仏社会学会ニュース	No. 64 日仏社会学会事務局
-----------------	------------	---------------------

<記事>

1. 研究例会について
2. 2026 年度日仏社会学会大会について
3. 大会「自由報告」の募集について
4. 『日仏社会学会年報』（第 38 号）への投稿論文等の募集について
5. 新入会員のご紹介
6. 会費納入のお願い

1. 研究例会について

日仏社会学会研究例会を開催します。奮ってご参加ください。

日時：2026 年 8 月 2 日（日） 14：45－16：15

場所：日仏会館・フランス国立日本研究所 501 室（東京都渋谷区恵比寿 3-9-25）

テーマ：「死とモノの社会学の再構築：フランス社会学から捉える日本の遺品整理業」

報告者：藤井亮佑（関西学院大学大学院）

コメンテーター：金瑛（大谷大学）

司会：佐藤典子（千葉経済大学）

3. 2026 年度日仏社会学会大会について

2026 年度の日仏社会学会大会は、10 月 3 日（土）広島大学関係各位のご協力により開催する運びとなりました。広島大学東千田キャンパス（広島市中区東千田 1-1-89）にて開催予定です。シンポジウムのテーマは「日本の社会学を考える」です。2027 年にフランスで開催されるコロックに参加予定の会員が登壇します。大会のスケジュールおよびシンポジウムの具体的な内容、報告タイトル等については 9 月初旬発送予定のプログラムでお知らせいたします。奮ってのご参加をよろしく願いいたします。

4. 大会「自由報告」の募集について

本年度も、下記要領によって、2026 年度日仏社会学会大会の「自由報告」を募集いたします。『日仏社会学会年報』に投稿を予定されている方は、その内容を自由報告にてご報告されることをお勧めいたします。

なお、専任職にない会員が報告を希望する場合、交通費の補助を行いますので、奮ってご応募ください。

- 1) 内 容 (1) フランス社会学に関するもの
(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの
(3) 日仏社会に関する広義の比較研究
- 2) 報告時間 20 分（プラス 5 分間の質疑応答）
- 3) 申込方法 e-mail で、報告テーマ、氏名、所属を事務局までお知らせください。
e-mail : nichifutsusocio@gmail.com
- 4) 応募締切り 2026 年 7 月 30 日（木）

5. 『日仏社会学会年報』（第 38 号）への投稿論文等の募集について

2027 年度発行予定の『日仏社会学会年報』（第 38 号）への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、フランスに関連する会員の著書の書評の依頼も随時受け付けています。

- 1) 原稿締切り：2027 年 3 月 31 日
- 2) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木 1 1 1 岡山県立大学保健福祉学部
近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）
電話：0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

3) 投稿規定

- 1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会に関する広義の比較研究のうち未発表のものに限る
- 2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。
- 3) 論文は 400 字詰め原稿用紙換算 50 枚程度。
(図表等を含め約 20,000 字。フランス語または英語の場合は約 5,000 語)
- 4) 研究ノートは 400 字詰め原稿用紙換算 30 枚以内。
(図表等を含め約 12,000 字。フランス語または英語の場合は約 3,000 語)
- 5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400 字詰め原稿用紙換算 20 枚以内。
(約 8,000 字。フランス語または英語の場合は約 2,000 語)
- 6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300 語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200 語以内の仏文または英文の要約を添付する。
- 7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿 3 部に CD-R を添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、

原稿を送付する際に、著者名（英文付記）と所属、著者の連絡先（住所、電話、ファックス、Eメールアドレス）を書いた用紙1枚も送付のこと。

8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。

9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。

- 本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
- 著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
- 論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。

10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。

11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。

12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

6. 新入会員のご紹介

堀江郁智（東洋大学）、徳宮俊貴（大阪産業大学）

7. 会費納入のお願い

2026年度もお早めに会費を納入くださいますようお願いいたします。2023、2024、2025年度会費未納の方は、これも併せて納入ください。2025年度の会費を納入されていない場合、年報36号が発送されません。納入が確認できしだい、発送させていただきます。会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。院生会員の方は、同封の振替用紙の通信欄に、所属大学院を記載してください。

日仏社会学会事務局
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学社会学部内

nichifutsusocio@gmail.com
郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会
